

ーじえいさんのコンサル会に参加ー

じえいさんのコンサル会に参加してきました。
得ることができたのは・・・

”圧倒的な時間” と ”圧倒的な悔しさ” でした。

「時間はお金で買える」

頭ではわかっているけど、
ほんとうの意味で身をもって体験したのは初めてでした。

今回たった1日のコンサル会をとおして

「数ヶ月後の自分にワープした」

といっても過言ではないと思います。

そして、”悔しさ”。

31年生きてきたが
最後にこんなに悔しいと感じたのはいつだろう？

それくらい悔しかった。
悔しくて仕方がないはずなのに、同時にすがすがしい。
自分でも不思議です。新体験でした。

もし、またコンサル会に参加できるチャンスにめぐり会えたら
絶対に参加を申し込むと思います。

コンサル会を終え、気持ちがたかぶっているので

「次も絶対申し込む！」

なんて強気なことを言っていますが
最初は怖くてしかたありませんでした。

じえいさんからコンサル会の案内をいただいたとき、

「こんなチャンス2度とない！行くしかない！」

と思うのと同時に、すごく怖かった。

ビジネスを初めて10年ものあいだ、
ずーっと億を稼ぎつづけているという
想像もできないようなものすごい人にお会いすること、

初めて会う方たちといっしょに勉強すること、

そしてなにより、自分がなにもできてないことを知るのが怖かった。

私はじえいさんのコミュニティに参加してから
すでに5ヶ月くらいがたっている。

それなのに、じえいさんが教えてくれている「システム化」が
思うように進まない。

「まずはメルマガを作ろう！」

そう意気込んでみたものの
5ヶ月たって、やっとメールが2通書けたくらい。

完璧主義から抜け出せなかったのだと思います。
書いては直し、また書いては直し。

このままじゃいつまでたっても完成できない。
完璧主義から抜け出したい。

そう強く思い、
申し込み画面で止まったまま
ずっと握りしめていたスマホを持ち直し
申し込みリンクを押しました。

そして当日の朝を迎えました。

あいにくの雨でしたが、
緊張と期待に胸をふくらませ
待ち合わせ場所のレンタルスペースに向かいます。

「この辺のはずなんだけどな、」

道に迷って同じところをぐるぐる回っていると
偶然にも参加者のももなさんと合流でき、
なんとか目的地にたどりつきました。

マンションの一室がレンタルスペースになっているようでした。
集合場所の部屋の扉を前に、ももなさんと顔を見合わせます。

「じえいさんたちはもう中にあるのかな？ノックするだけなのに緊張する、」

扉をノックすると、参加者のひょうがさんが迎えてくれました。

「よろしくおねがいします！こちらがじえいさんです！」

部屋の奥のほうに目をやると、じえいさんがいました。

「よろしくおねがいします！じえいです」

さわやかイケメンだあ〜。
あと思ったよりがっしりされてる 笑

いつも動画できいている声を生できけた感動を覚えつつ
近くの席に座りました。

残りの参加者のあいすけさんも到着し、コンサル会が始まりました。

まずは簡単な自己紹介をして
じえいさんが、順番に参加者4人の話を聞いていきます。

私は最後の4番目だったのですが
前の3人の話を聞いている時間が有益すぎました。

「最初のうちは何がわからないのかさえ分からない」

なんてよく聞きますがまさにその通りで
他の人がじえいさんにする質問を聞いていると
自分が気付いていなかった問題点が
つぎつぎと浮き彫りになっていく。

「たしかに自分も同じことを思ってた」

「次のステップに進んだら自分も同じ壁にぶつかるかも」

「自分はできているつもりだったけど、まだ足りてないんじゃないか」

問題が見つかり、同時に不安もわいてくる。
どうしたらいいんだろう。自分は大丈夫なんだろうか、
するとそこに、じえいさんがアドバイスをくれる。

質問に対する答えはもちろん、
聞き手のレベルにあわせた具体的な例をあげてくれたり
ご自身の経験にもとづく数値で根拠をはなしてくれたり。

さらには、

「それか全然関係なく、インスタやるのもいいかもしれないですね。その
ほうが・・・」

質問した側からは思いもしなかったような案がどんどん出てくる。

こんなにたくさんの可能性があるのかと知ると
自分のことじゃないのに
思わず前のめりになってしまうほどワクワクしました。

ネットで偶然じえいさんの発信を見つけて
動画や文章から感じていた思考力の高さは本物だった。

それどころか実際にお会いして
底知れぬ思考の深さを垣間見ました。

夢中でメモをとっているとあっという間に時間が過ぎ
自分の番がまわってきました。

席をかわってもらい、じえいさんの正面に移動します。
面と向かって話してみても
じえいさんはとても気さくで話しやすい。

最近、文章を書くときに悩んでいることをいくつか質問させてもらったが
文字通り、秒で解決した。

いただいたアドバイスの中にはもちろん、
過去に聞いたことがあるものもあった。
けれどリアルで自分に向けられた言葉は説得力がまったく違う。

私の置かれた状況を知ってもらっていて
そこにじえいさんの知識・経験をふまえたうえでの回答。

もし自分で、同じだけの知識を身に付けて
同じだけの経験を積むとしたら
どれほどの時間が必要になるだろう。

じえいさんが積み上げてこられた時間の価値を思うと
信じて行動するには十分すぎるほどの説得力です。

あっという間に自分の悩みが解決してしまったので
質問がなくなっていました。

他になにか聞きたいことはないかと
必死に考えるもなかなか思い浮かばない。
うーん、、っと困っていると、
じえいさんが救いの手を差し伸べてくれました。

「ぜんぜんよければ今、メールの1通目とかみましようか？」

ええ！！ 見てもらうのアリなの？！
じえいさんが
有料でステップメールのミニコンサルをされているのを知っていたので
申し訳なさを感じつつもお願いしてしまいました。

せっかくなので他の参加者の方にも読んでもらうことに。
休憩をはさみつつ、私のステップメールの1通目を読んでもらいました。

みなさんがメールの文章を読み始めると
待っている私には突然、静寂が襲ってきます。

すると同時に自分の文章のダメなところを思い出す。

「あとから付け足したこの文章、いらないな・・・」
「パソコンだと気にならなかったのに、スマホでみると行間が詰まってて
読みにくい・・・」
「この部分、面白さを出そうと思って書いたけどすべってるよなあ・・・」

やばい、こんな駄目なものを読ませてしまっているのか。
サーっと頭から血の気が引いていくのを感じました。
指先は氷のように冷たくなり、息も苦しい。

読み終わるのを待っている時間、
こんなに体感時間が長いのは久しぶりでした。

「みなさん、読み終わりましたかね？」

じえいさんの言葉に、ほっ、と安心。

そこからまず、参加者の方に意見をいただいた。
わかってはいたけれど、肯定的な意見はありませんでした。

「正直に言うと、途中で眠くなる」
「どこが悪いかと言われると分からないけれど、長く感じた」

うぐっ・・・やっぱりそうだな。
今こうして文字にしてみるとかなりショック。

にもかかわらず不思議と
「怒り」とか「悲しみ」の感情はまったく起きませんでした。

あるのはひたすらの感謝と、はやくこの学びを生かしたいという気持ち。
いつもの私だったら嫌になって逃げ出したくなっていたと思う。
コンサル会ってこんなすごい場所なのか。

そして次には、
じえいさんから直すべき点について教えていただいた。

「読者が読む理由付けが弱い」

ここが、途中で眠くなったり長く感じてしまう原因とのこと。
他にも、注意すべき点や
すぐにでも使えるテクニックをいくつも教えていただいた。

中には勉強して正しいと思ってやっていたことが
実は逆効果ということもあった。

もしコンサル会に参加していなかったら？
どれだけ間違った方向に進んでしまっただろう。
失われていたであろう時間を思うとゾっとする。

やはり正しい努力をするために投資をおしまないこと。
時間を大事にすることが大事だと再確認しました。

本当に刺激的な一日だった。
たくさん学びを得て、自分のやるべきことが明確になる
そんな濃い濃い時間をすごすことができました。

最後に、
私が一番参加してよかったと感じたことを書きます。

今回のコンサル会をとおして
私は自分のダメさ加減を知ることになりました。

指摘をもらえた「読者が読む理由付けが弱い」という点。
つまりは読者のメリットを考えるとということ。

こんな基本的なこと、今までに何回も目にしてきたんじゃないのか？
なんでわかっているのにできていない？

自分が情けない。めちゃくちゃ悔しい。

自分のメールを読んでもらっていたときもそう。
わかっているはずなのに何もできてない。

「読者の目線で考える」

”はじめて会う人” に
”自分の目の前” で
”リアルタイム” に

自分が書いた文章を読んでもらった。

そこまで強烈な体験をしてやっと
読者の気持ちを考える本当の意味を理解した。
わかった気になっていただけの自分に苛立つ。本当に悔しい。

意外に思うかもしれませんが、
”悔しさ”を手に入れたことこそが一番の収穫だと思っています。

”悔しさ”こそ、最強の原動力です。

私がコンサル会に参加を決めた理由は
完璧主義を抜け出すためでした。

最強の原動力を手に入れた今なら、そんなもの簡単に抜け出せる。
だってとにかく前に進まなきゃこの悔しさは消えないんだから。

大人になって、悔しい思いをしそうなことから逃げるようになった。
だって悔しいってのは、苦しくて嫌な気持ちだと学んでいたから。

ところが、今回の悔しさは違いました。
ここから自分は変わる。そのための悔しさなんだと
プラスの感情にすらなっている。

それは、
明確に進むべき方向を示してくれたじえいさん、
私の文章を良くしようと
真剣に向き合ってくくださった参加者の方たちのおかげに違いありません。

向上心をもった人たちが集まると
”悔しさ”というマイナスの感情すらプラスの感情にしてしまう力がある
のかも。

じえいさんのコンサル会に参加したいけど迷ってる方がいたら
教えてあげたいです。

もし失敗したり、うまくいかないことがあっても

”悔しくなれてよかった”

と思えることを私が保証します 笑

長くなってしまいすみません。
ここまで読んでいただきありがとうございます。

じえいさん、
改めてコンサル会を開いていただき、本当にありがとうございました。